

平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会

第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年7月29日(火) 一回戦

Fコート 第3試合 東京成徳大学深谷高校

チームA				チームB
県立幕張総合	80	{ 15 - 8 16 - 15 18 - 18 31 - 13 }	54	近畿大学附属
千葉				大阪

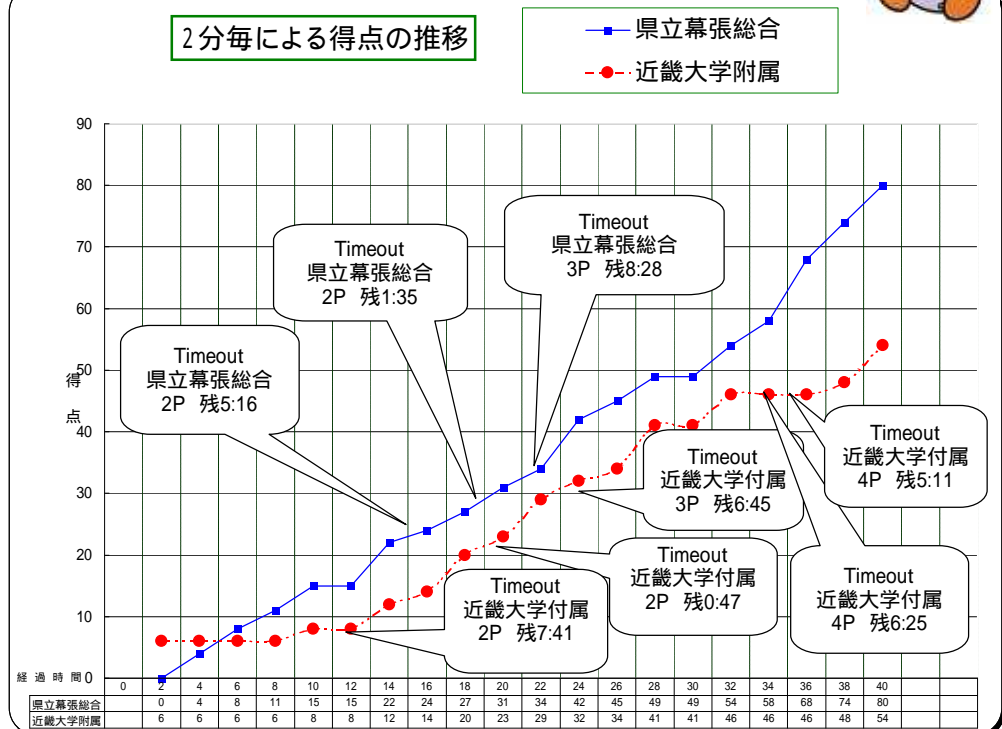
県立幕張総合

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	金子 琢哉	X	4	0	1	2	6	0	0	4	0	1	2	0	3	0	27
5	横山 拓巳	X	4	0	1	2	8	0	0	2	4	6	1	4	0	0	29
6	渡邊 良健	X	41	5	15	12	20	2	4	1	0	11	0	2	0	2	38
7	山田 元太郎	X	15	2	8	4	11	1	2	1	3	3	2	0	0	1	37
8	石澤 雄馬	/	2	0	0	1	7	0	0	0	0	2	0	3	0	0	14
9	阿部 勝馬	X	4	0	2	2	5	0	3	2	3	6	1	0	0	4	28
10	中村 考宏	/	4	1	2	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	2
11	鈴木 暁良	/	4	0	0	1	1	2	2	2	1	2	0	0	0	0	13
12	重田 智幸	/	2	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
13	渡邊 清孝	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
14	松尾 和樹	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
15	高山 陽実	/	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	6
コーチ	飯沼 加寿夫									0	1	2					
出場: ×は先発、/は出場			80	8	29	25	60	6	14	12	13	33	6	9	3	7	200
確率				27.6%		41.7%		42.9%			計	46					

近畿大学附属

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	北出 友也	/	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	5
5	中川 拓巳	X	4	0	0	2	2	0	0	0	0	6	1	0	1	0	23
6	高田 辰典	X	11	3	20	1	2	0	0	3	1	7	1	0	1	0	37
7	竹田 拓哉	/	6	2	5	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	10
8	新井 成勲	X	15	0	0	6	20	3	4	3	9	5	0	0	0	2	34
9	富田 晋平	X	12	0	2	6	16	0	0	3	3	6	1	2	3	0	36
10	川原 光喬	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
11	元林 征俊	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
12	松本 祥平	/	2	0	0	1	3	0	0	3	3	2	1	0	0	1	17
13	南谷 研隆	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14	青山 裕太	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15	甲斐 侑	X	4	0	4	2	8	0	1	2	3	5	1	1	1	0	38
コーチ	大森 健史									0	1	2					
出場: ×は先発、/は出場			54	5	31	18	52	3	5	18	20	35	5	3	6	3	200
確率				16.1%		34.6%		60.0%			計	55					

2分毎による得点の推移



戦評

第1P 近大附属はハーフコートマンツーマンとオールコートマンツーマンの併用で、幕張総合は2-3ゾーンからのトラップディフェンスでスタート。最初に近大附属がファーストブレイクやオールコートマンツーマンプレスでベースを掴む。しかし、幕張総合も合わせからの#9阿部のゴール下シュートでリズムが出て来た。お互い速い展開でプレイする中、アウトサイドのシュートを決めた幕張総合がリードした。

第2P 両チームなかなかシュートが決まらなかったが幕張総合が#6渡邊のドライブインやミドルシュートでリズムに乗る。一方近大附属は#8新井のミドルシュートやゴール下で追いあげ、近大附属に流れがいきかけたところで幕張総合がタイムアウト。幕張総合が#6渡邊の3Pや#9阿部のシュートブロック等でリズムに乗れば近大附属は#9富田、#8新井のミドルシュートで追い上げる。その後も一進一退の攻防が続き、31-23幕張総合が8点リードで前半終了。

第3P 近大附属が#8新井のミドルシュート、1対1からのゴール下等の6連続得点で2点差となり幕張総合たまたまタイムアウト。タイムアウト後幕張総合が#6渡邊、#7山田の連続3Pで差を広げる。その後両チーム共着実に加勢し49-41と幕張総合8点リードで第3P終了。

第4P 幕張総合は#4金子からゴール下の#9阿部へのパスや#6渡邊の3P、ドライブインで加点、更に#7山田のドライブインやミドルシュート、#6渡邊のバスケットカウントワンローやミドルシュートで差を広げ、80-54で幕張総合が勝利した。

主審	飯塚 勝	副審	若林 哲	戦評	佐藤 政徳 (埼玉県高体連)
----	------	----	------	----	----------------

3P: スリーポイントシュート、2P: 2ポイントシュート、FT: フリースロー、OF: オフェンス、DF: ディフェンス、TO: ターンオーバー、ST: スティール、AS: アシスト、BS: ブロックショット